

核兵器全面禁止条約の交渉開始を

香川県原水協ニュース

NO

147

2020年5月24日(日)

原水爆禁止香川県協議会

電話・FAX087-831-5350

愛媛県への引継ぎ、無事終了！ 行進カーによる、平和行進が新発見！！

メールが新しい「平和の絆」のツールに・スタンディングが県民への「平和の見える化」に、
そして「一言メッセージ」が新たな参加方法に！

いよいよ愛媛県への引継ぎの日です。約束の時間きっちり、行進カーを県境の「道の駅」に停車させました。愛媛県の立派な行進カーが先に待っていてくれました。愛媛県の進行で、岩部香川県原水協筆頭代表理事が、挨拶。この15日間の概略を紹介し、福井行進実行委員会事務局が詳細な報告を3点にわたり、紹介しました。1つ目は各自治体への訪問で、共同して平和の活動を強めようと強調した自治体が増えていること、二つ目には新たにスタンディングという行進の「見える化」を73名・12か所で行ったこと、そして最後に新しい参加の方法として「歩く」ことを「書くこと」に置き換え、今日までに102名の方から、「一言メッセージ」を頂いたことを報告しました。

愛媛県を代表して、今井正夫愛媛県実行委員長から挨拶。

新型コロナウイルスで、諸大会が残念なことになったが、コロナも核（兵器）も人類の脅威であり軍事費の潤沢な予算はコロナにこそ使えと告白。核兵器もコロナも地球の存続にかかわる大問題と指摘しました。愛媛県平和行進の草の根の力で、自治体への働きかけを続けたいと決意を述べました。そして愛媛県行進実行委員会のパンフを例年の様に作成したことを報告。今、核兵器禁止条約は37か国が批准したが、この発効まであと13か国である。この発効でトランプ大統領を政治的に包囲していこうと呼びかけました。

思えばこの15日間新しい取り組みを余儀なくされました。しかし考えようによっては、新たな活動の「あかり」が見えてきたとも言えます。まずスタンディングでは、12か所73人と全参加者の34%（速報値）になったこと。さらに民医連が28日も独自に活動したいと、広がりがあります。また、「一言メッセージ」は105人となりました。帰宅後メールを開くとまたまたうれしい便り、坂出市のIさんから「お疲れ様でした。ニュースも有難うございました。坂出の仲間に伝えたいと思います」とありました。この運動は魔物です。こんな一言がどんなに疲れていても背中を押すのですから。



愛媛県境での香川・愛媛の仲間とコース横断幕引継ぎ